



発行所 福井県大野郡 和泉村

(昭和44年3月1日現在)

村の人口	4人
出生	0人
死亡	2人
転入	100人
転出	100人
総人口	2,667人
男	1,380人
女	1,287人
世帯数	722世帯

村の面積 332.26平方km

三月定例会

議案十七件を可決

工場設置奨励条例など

第五十二回定例村議会は、三月二十四日から七日間の日程で開会され、村長の新年度行政方針についての説明や一般会計と五つの特別会計予算案、工場設置奨励等条例の制定を始めとする議案十七件、教育委員会委員の選任同意など二件、この外、常任委員会委員の選任同意に対する議会議案と、専決の報告各一件の審議が行なはれた。その主なものは、おおよそ次の通りである。

◇議会常任委員会委員構成
総務常任委員会委員

- 委員長 加藤 良雄
- 委員 吉川 基
- 副委員長 田村 重次郎
- 委員 弘

- 産業経済常任委員会委員
- 委員長 中山 正
- 委員 新井 一雄
- 委員 谷口 武雄
- 委員 藤沢 平一

- 建設常任委員会委員
- 委員長 田中 善武
- 委員 三島 利夫
- 委員 宇野 一雄
- 委員 吉村 外治

◇固定資産評価審査委員会委員
教育委員会委員

- 山本清孝 北正一
- 個定資産評価審査委員会委員
- 栗守 栄太

◇工場設置の奨励と分収造林契約の条例を制定

工場設置奨励条例は、村内に適正な工場を誘致して、健全な工業の芽生えを促進し、地理的に置かれた経済的格差の是正によつて、他の開発と共に、村勢発展の基盤をなすものとして、制定され公害の防止に関することや、助

成金の交付、課税の緩和など奨励措置が定められた。

又、分収造林契約に関する条例については、村内における造林事業を促進する為、村が費用負担者となつて、土地所有者と、造林者との三者による分収造林契約をするもので、分収造林特別措置法に基づき、契約の締結や、収益分収の割合(和泉村五〇、土地所有者四〇、造林者一〇)などが定められた。このほか、工場設置奨励条例の制定にともなう税条例の一部改正や、印鑑証明に関する手数料と他の証明手数料と同額の「三〇円」から「五〇円」に統一する改正、職員の給与に関する条例、農業共済条例などの一部改正も行なわれた。

新年度予算

総額二億六千八百万円(一般会計)

投資的経費を増額 再建施策を充実

特別会計は三千百参拾一万七千円

本年度は、投資的経費を増額し、新しい村造りに対する基本的施策をさらに充実させ、行政効果と総合的見地に基づく経済効率を重点に、予算編成がなされ、農林水産業費を始めとする土木費、教育費など総額は、二億六千八百八十万円となり、前年度における当初予算と比較して約七千六百万円

◇子を守る パパの理解とママの愛

今月の目標

- ◎くらしの中に防火の習慣を
- 一、出るとき、寝るとき火の元をたしかめる。
- 二、たばこは、灰皿のあるところで吸う。
- 三、コンロ、ストーブのまわりは、いつもきれいに、片づけしておく。

入	出
款別	款別
1 村税	1 議会費
2 自動車取得税交付金	2 総務費
3 地方交付税	3 民生費
4 分担金及び負担金	4 衛生費
5 使用料及び手数料	5 労働費
6 国庫支出金	6 農林水産費
7 県庫支出金	7 商工費
8 県財産収入	8 土木費
9 寄附金	9 消防費
10 繰入金	10 教育費
11 繰越金	11 災害復旧費
12 繰入金	12 公債費
13 諸収入	13 諸支出金
14 雑収入	14 予備費
計	計

昭和四十四年度一般会計款別集計表

十三万三千円、水路改良、農道開設に六十万円、二年目を迎えた林業構造改善事業にともなう水谷線、谷山線の各林道の開設が二千八百七十八万円、森林組合が事業主体として行なう造林施設、素材生産施設あるいは、樹苗生産施設事業に五百三十九万円、この外、人造湖における摘水魚族の放流や、網生養漁に対するもの二百五十万円となつており、農林水産業費総額は七百二十四万九千円、全体予算額の約二七パーセントを占め、民芸館内部整備、観光案内看板、あるいは木工品石工品等の開発指導員育成費における

- 一、国民健康保険事業特別会計 八百三十七万円
- 二、診療所事業特別会計 七百四十四万一千円
- 三、電源開発関係水没村林道付替事業特別会計 一千五十五万九千円
- 四、簡易水道事業特別会計 二百五十七万六千円
- 五、農業共済事業特別会計 二百三十七万一千円

商工費については、五百九十三万三千円、二、二パーセント又土木費では、村道除雪にとりなうブルドーザーの購入等六百七十七万、その他、国、県道改良に関する経費が一十七百四十二万円、道路、橋梁及び河川の維持あるいは新設改良費一千八百九十二万で総額四千九百万円(十八パーセント)次に教育費においては、小中学校暖房施設費などに一千七百四十四万一千円、総額五千六百万円に及び、全体に対する割合は十九パーセントを占め、災害復旧事業の減額を始め、経常的経費を除いては、いずれも大巾に増額された尚、国民健康保険事業など五つの特別会計予算の総額は、三千百三十一万七千円、その内訳は次の通りである。

昭和四十四年度

村長施政方針の内容

第五十二回定例会に於て昭和四十四年度村長施政方針演説が行われたが、その主な施策の概要は次のとおりであった。

一、鉄道の見通しは非常に明るく、荒島隧道の残り二キロは遅くとも六月迄に発注されるものと思われ、更に板倉地区(五工区)も今秋には発注可能な情勢で、残りは朝日地区(六工区)だけとなり四十六年には営業開始されるものと確信している。

二、国道一五七号線の「大野」白鳥間の改良舗装については、来年度末迄に完了の予定

役場の窓口

四十四年度国・県道整備計画決まる

整備計画決まる

交通機関の発達にともない、道路網整備の要望にこたえて、県では昭和四十三年より継続的に整備を行なっている。計画によると四十五年頃には、大野・白鳥間が全線舗装されるという明るい見通しの計画もなされており、すでに本年度の計画が県当局において決定した。総事業費、国道、五億五千九百万円、県道、六千五百萬円が予算化され、中員改良、防雪、舗装と順じ早々より工事着工されるようである。

新刊「公民館図書」を購入

移動文庫も開始

NHKテレビ放送中の「天と地と」の海音寺潮五郎原作「上中下」三巻、村上元三作「足利尊氏」など二百冊、中竜支所へも石原慎太郎作「密航」や現代青年向の源氏鶏太作「まだ若い」など新刊図書を購入了しました。

良質米は

種籾消毒から

種子伝染性病(ばか苗病、いもち病、ごま葉枯病)の防除に必ず種籾の消毒をいたしましょう。

和泉村農業共済では今年から種籾消毒用薬剤を会員の皆さんに無料で四月初め迄に農家組合長さんを経由して配付いたします。病害にかからぬ前に先ず防除いたしましょう。

教育センターで近く完成

和泉村の地形模型

九頭竜ダムの完成によつて、和泉村の地図は全く変わりました。この一変した和泉村の姿をとらえるために、現在は五分の一の地図にダムの水域が青色に着色されて利用されてきていますが、この冬もつと具体的に新しい村の全貌がとらえられるものを作ろうと、教育センターの佐々木指導主事が企画して、二万五千分の一の大サイズの「和泉村の立体地図」の作成にとりかかりました。

また、その底には元の部落の様子なども見えて興味深いものがあります。完成すれば、小中学校の地図の見方郷土の学習など社会科の学習にも活用されるでしょうし、教育センターを訪れる各地の見学者にも一見して和泉村の全貌が理解でき、活用度が多いと囑望されています。

昭和四十四年度緑化運動



緑の週間
自 四月 一日
至 四月 七日

今年も緑の週間を中心に、山地の造林ならびに環境の緑化を目的とする運動が行なわれ、緑の羽根パッチ募金運動をはじめ、沢山の行事が計画されており、大部分が山である当村はこれを機会に多く植林して、緑あふれる美しい村にしていきたいでしょう。

うづき(四月)



私達の職場で明るい職場とよく言いますが、どういふ職場をさしているのでしょうか、いまさら説明する事はないと思いますが一応その要があげられるのではないかとと思われる一、職場規律が確立されている職場上司の業務上の命令がまちがいがなく



国、県道整備計画図

(公民館)

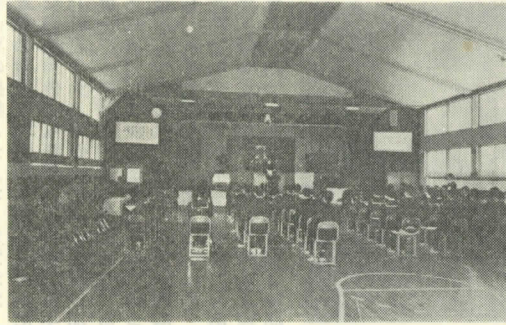


完成近い和泉村の地形模型

◇ 酒席での「さかずき交換」はやめましょう

入学、卒業の皆さんお目出とう

卒業生の皆さん進学、就職、お目出とうございます。又、新入学生の皆さん晴れの入学、心から祝福申し上げます。三月十九日、朝日中学校、大納中学校でそれぞれ卒業式が盛大に行なわれ希望に胸ふくらむ卒業生達は在校生に見送られ想い出多き学舎を後にした。



朝日中学の卒業式の模様

本校中学校卒業生進路状況

進路別	朝日中学校		大納中学校	
	男	女	男	女
進学	七	九	六	五
進学就職者	一	〇	一	三
就職者	三	三	六	一
合計	十一	一二	一四	九

(入学)

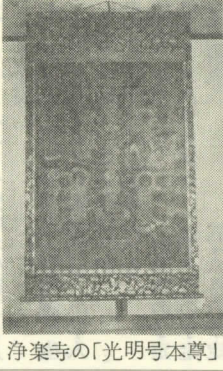
児童名 尾花裕樹 尾花良典 谷口徳美
 部落名 朝日
 保護者名 尾花継男 下出定幸 谷口重徳

大納小学校	石沢孝裕	尾崎範弘	三村進	布川正勝	平野詳造	池田誠一	奥村勢一	林和己	名村正人	田中耕司	土谷英美	小島敏明	佐藤尚	野呂二三	佐々木康夫	柳橋鉄雄	持田盛啓	三竹英一郎	福田愛子	吉田美香子	宮浦和子	島下秋江	広瀬幸子	加賀美津枝	箭内し乃ぶ	岡部澄枝	久保みどり	原さとみ	宮本智恵	河口陽子	坪川のり子															
直井一樹	加藤和徳	沖村邦雄	中内雅希代	洞口かおり	清水泰子	若林喜代美	川合貝皿	直井守嘉	加藤一美	沖村清蔵	中内智利	洞口佐智男	清水孝	若林常吉	石沢長一郎	尾崎日出雄	三村登	布川洲治	平野重雄	池田直昭	佐々木勇吉	奥村昭昭	林義市	名村義三	田中繁	土谷利美	小島肇	佐藤弘	野呂一	佐々木覚	柳橋春志	持田寿幸	三竹英雄	福田利行	吉田勝	宮浦照一	島下敏男	広瀬博美	加賀正次郎	箭内一松	岡部宗利	久保雅市	原維雄	宮本忠	河口孝次	坪川福治

重要文化財に指定

楽浄寺「光明号本尊」

かねて申請中の上大納浄楽寺(元高田派大原道場、昭和三十六年二月一日寺となる。住職原信楽氏)の光明品(こうみょうほん)「光明号本尊」といものが三月福井県文化財保護委員会において福井県の重要文化財として他の



浄楽寺の「光明号本尊」

- | | | | |
|-------|-------|--------|------|
| 青山由起 | 青山昭 | 佐々木裕美子 | 佐々木貞 |
| 鳥谷部君子 | 鳥谷部治郎 | 岡田幸子 | 岡田照夫 |
| 松浦道代 | 松浦武夫 | 岡田幸子 | 岡田照夫 |
| 鈴木紀子 | 鈴木徳衛 | 岡田幸子 | 岡田照夫 |
| 森脇教子 | 森脇勉 | 岡田幸子 | 岡田照夫 |
| 村上みゆき | 村上政幸 | 岡田幸子 | 岡田照夫 |
| 松田美広 | 松田恒雄 | 岡田幸子 | 岡田照夫 |
| 井上宣子 | 井上文之助 | 岡田幸子 | 岡田照夫 |

下山小学校

- | | | | |
|-------|---|----|------|
| 島田美奈子 | 女 | 下山 | 島田 巖 |
| 中村美根子 | 女 | 下山 | 中村憲治 |
- (以上四名)

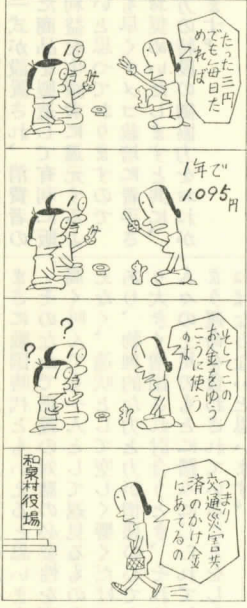
狂犬病予防注射について

今年度の狂犬病の予防注射を次の様な計画で行いますからすべての飼犬は登録をされると共に必ず注射を受けて下さい。

四月十四日午前十時三十分から十一時三十分まで 中龍支所前
 四月十四日午後一時から三時まで 和泉村役場前
 四月十四日午後三時二十分から三時四十分まで 下山小学校前

登録手数料 一頭につき 三〇〇円
 狂犬病予防注射済証 六〇〇円
 予防注射手数料 二〇〇円

カンオサジ



絶対遊ばない、恐い車のおる道

部下職員に伝達され部下職員も意欲をもつて仕事に従事した職場の実態が上司に手にとる様に把握できる様な職場や室内が整理整頓され清掃が行きとどいている職場こそ職場規律が確立されている職場といえるでしょう。

二、人間関係のうまいくついている職場私達の周囲を見渡した場合多くの職員が机をならべて仕事をしているわけですがその場合最も大切なことはこれ等の者同志の「人の和」であります。

お互い同志がくしみ合ったり対立抗争したりしては能率を發揮する様なことはとうてい望みえません。いっしょに働いている人達がお互いに助けあい悲しみ合い励まし合つて上司と部下職員の間が気持ちがつくりいついてくる職場すなわち人間関係がうまいくついているような職場であれば仕事に熱中でき能率をあげる事が出来るわけですね。

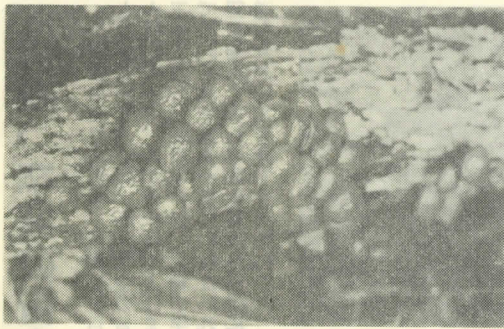
三、職場環境が整備されている職場施設環境等が整備されておらず乱雑になつていけると、そこに働く人達の気持ちもついなげやりに必ずがちです。整備するといふ事は必ずしも新しい物でなければいけないわけではないのでお互い創意工夫をこらして職場環境の整備につとめる必要があります。

四、職場士気が高まつている職場職場において職員全員がやろうという意欲すなわち職場士気が旺盛でなければ業務の正常運行はむずかしい。職員全員がやろうという気持ちでいるかどうかということが仕事をスムーズにやうていけるかどうかという事と大きなウエイトを占めるものです。

五、タテヨコのれんけいが保たれている職場上昇的下降的の水平的コミュニケーションが円滑におこなわれていれば上司、同僚、部下の気持ち、考えはお互いによくわかつて来る様になり気持ちよく働けるようになって来るものです。

あなたもキノコ栽培を

明春山菜加工場建設
和泉村農業協同組合



和泉村の、三万二千三百二十五町歩に及ぶ広大な山林に自生する豊富な山菜(ゼンマイ、ワラビ、フキ、タケノコ、ミズナ等)や造林事業により伐採される広葉樹を利用して、人工栽培されるナメコ、ヒラタケ、椎茸、エノキタケ等の生産物を有利に販売する目的で、昭和四十五年度(来春)加工場を建設することになっております。そのため昨年来、農家の方にゼンマイ、フキ等山菜の採集とナメコ、ヒラタケ、椎茸等の栽培をお奨めして参りました。又農協自体でも昨年は三百石、本年は七百石のナメコのほだ木を生産し加工場をフル稼働させる態勢をつくるために努力しております。特にナメコの栽培については、高冷地が気候的に適し、どこでも栽培出来ないため、現在非常に有利で原木も身近に沢山あり投入資金も少なく、その回転も比較的に早く、栽培も簡単に春先の暇な時期に

種菌を打込み翌年秋の手のすいて来るころに収穫期に入る等、有利な条件が揃っているにもかかわらず農家の方の栽培意欲が非常に低いのが残念でなりません。もつとも皆さんは栽培の経験も浅く、今迄の様に生物が少し過剰生産になると買手もなく大損をした苦しい体験がナメコ栽培に着手しにくい原因ではないかと思いますが、加工場が出来ればその心配は全くありません。

予防接種を受けよう

わが国の伝染病予防対策を考へるときまず伝染病そのものの変遷と、これに対する知識の発達、そして予防対策の進歩とを考究する必要があります。このことは世界各国について共通であるが、最近に至つては、さらに全世界からの伝染病撲滅運動へと次第に進展していく道程でもある。

伝染病の発生はまた社会環境の変化に大きく支配せられるのであつて、衛生環境の改善はそれだけで、ある種の伝染病を極度まで減少させることが出来る。これは主としてその伝染病を媒介する汚染物あるいは昆虫その他の動物の減少によるものであるが、人から人へ直接に伝染するもの、特に呼吸器系伝染病はこの範囲には入っていない。伝染病の予防の主要な手段は、伝染経路の遮断という消極的ではあるが重要なことその他に予防接種という積極策を励行することである。今年度伝染病予防接種の月別実施予定を次のとおり実施しますから、対象者全員予防接種を受けましょう。

- 一、痘そう(対象者) 第一期生後二ヶ月~十二ヶ月第二期今年小学校入学児第三期中学入学児
- 二、小児マヒ(対象者) 生後三ヶ月~十八ヶ月の乳幼児 年二回
- 三、腸チフス、パラチフス対象者生後三才~四才までのもの、一週間間隔

◇ どの子も わが子と同じ愛の手を

加工場には缶詰、瓶詰、真空包装等の出来る機械一式が設置され、消費者の好みに応じた商品を製造して有利に販売し、その利益を生産者に還元するよう努めたいと思つておりますので、どうか一日も早くナメコ栽培に着手されますようお願いいたしますと共に、今後、皆様方の特段の御協力を重ねてい申し上げます。

三回

四、日本脳炎(対象者) 生後六ヶ月~十二ヶ月の者は二回以後は毎年一回全員

五、BCG(対象者) ツベルクリン反応(一)者

六、インフルエンザ対象者生後三ヶ月以上全員

七、ジフテリア百日せき(対象者) 生後三ヶ月~六ヶ月乳児三回、小学入学児一回、中学一年生一回

予防疫種予定は左記のとおり
痘そう小児マヒ 四月中の予定
腸チフスパラチフス 五・六月の予定
日本脳炎 五・六月の予定
BCG 七月の予定
インフルエンザ 九・十月の予定
ジフテリア百日せき 十・十一月の予定

人間性の回復

現代はどのような時代でしょう。それは人それぞれ、種々変つた見方をするでありましょうか、あの学園紛争に見られるとおり、怒れる若者たちの現状打開を指向する過激な行動のなかに今日の時代の確相が象徴的にあらわれていると思われまふ。

数千人の機動隊が押し寄せ、催涙弾や放水の飛び交うなかでゲバ棒が振られ、煉瓦破片や小石が飛ぶ、これでは国を背負いやがては地球をも背負つてもらいいたい大学生とはいえないのでは

ないでしようか。日本人同志の討合等まさに戦国時代ともいえると思ひます。そのなかで正義の対話の必要性を高く叫んでも一人として返見するものさもなく、遠吠として空しく響くだけであり、物理的な力と力が憎悪の心でより大きく増副され討合うとき、それは人々の土足のもとに踏みこじられてしまふ運命を負わされていることをしらねばならないと思ひます。

世代的断絶思想の対立は激しくなりお互いが人間としての基本線に立直り共に理解し合うよう対話をして行こうと云う前向きな努力が現状では路傍の片端に忘れ去られているような感が強く人間関係の対立は国にして世界にその波紋を拡大し、人が願う平和と繁栄の国づくりの実現には道遠しの感がします。

ある雑誌に「地球は宇宙のオアシスである」と記載があつたことを記憶にありますが、「福井県は日本のオアシス」「和泉村は福井県のオアシス」「中龍は和泉村のオアシス」そのオアシスであるべき現実の日本国の実相はあまりにも大きな矛盾があり強く自覚しその責任と使命にめざめなければならぬその実践により人間としての本源的立場に立つて考えられ誰人にも共通の場が開けるようになることはまちがいないと思ひます。

単純な方かしかれませんが、現代人はやるせない心の苦しみあらわれであり暗中模索ともいえない不幸な人生をあゆんでいるといえましよう。つまり人類の精神的荒廃まさに精神の砂漠とも云われる現状を、こんこんとわきいずる清水で豊かな実りある緑園を成してゆくためには、現代科学、物質文明の異常な発達陰にかくれて忘れ去るうとして居る人間性の回復以外には断じて何ものもあり得ないことを強く主張したいものであります。

春季火災予防運動の 実施について

三月二十五日~四月七日

恒例の全国火災予防運動が、二月二十八日から三月十三日まで実施されたが、福井県は気象条件等の都合で、一ヶ月繰下げ三月二十五日より四月七日まで実施されます。

この運動は、これからの火災多発期を迎えるにあたり、住民一人一人の防火意識の向上をはかり、火災予防体制を強化することが目的であります。村消防団においてもこの期間中予防査察、消防水利の確認、消防施設の整備点検等を実施することになっておりますが、各家庭においても次に掲げる事項については是非共実行していただきたいと思ひます。

- ア バケツ一杯の水のくみ置き
- イ たばこの投げ捨てと寝たばこの防止

し尿の汲取は 早めに申込む!

電源開発工事を完了に伴ない人口や住宅の減少により、し尿の汲取り作業を計画的に行いたいため皆様の御協力を願ひます。

バキュームカー(汲取車)の汲取容量の都合上少量には申込みされなくても二、三車分にならないと車の燃料作業の操作上からしても不合理な点が多く、ある程度の申込量になるまで作業を待つて頂く事がありますので今月から計画的作業を考へて居ります。汲取月の十日までに便壺の容量を見て早めに申込まれます様願ひします。汲取料金は、十八リットル当り二〇円で申込は役場の住民課(衛生係)へお願ひします。